



アメリカ便り

(最上武雄君第1信)

(7.4 Independence day, New York にて)

米国上陸以来1月以上たちました。東京は梅雨あけで急にあつくなつた頃と思います。随分あちこち歩きました。日本にいる時は全く見当がつかず日程がたゞず困り、然ばつた計画を立てすぎましたが、この国に来て初めて北米がいかに大きいかを知り計画をうんと小さくしました。

大体、大学の実験室と他二、三の研究所を主とし、見たかつたアースダムの現場は思い切つて割愛しました。San Francisco 上陸まもなくは「他の誰れでもが知つていて小生一人知らないもの」例えば、電車やバスの停留所の位置、のり方、食事の仕方、飛行機の乗り方等さつぱり分からず、大弱り致しました。

一番最初 Berkeley の Univ. of Calif. に行きついで Los Angeles に飛びました。そこでは Calif. Inst. of Technology を見る事が出来ました。不思議と私は行く所お祭りにぶつかりました。Los Angeles で Webb school と云う郊外の High school の卒業式を見る事が出来ました。飛行機の seat をとりそこね思わぬ長滞在の後 New York に飛びましたが、宿へついて間もなく Princeton にいる石井靖丸君に電話をかけましたら、石井君と Prof. Tschobotarioff が電話に出て是非直ぐ来い、今丁度 Princeton はお祭りだと云う訳です。あわてゝ、Pennsylvaniast. から此国で初めての汽車につて行きますと、乗り換え場まで石井君と Prof. Tschobotarioff が来てくれました。Prof. Angas (Vice Admiral でこの人のお父様は明治初年日本に来た) も大変良く世話をしてくれました。石井君の話によれば Tschob. 先生の空前の大歓迎だつたそうで、おどろいて了つた程です。How do you do Prof. Mogami? Very glad to see you, Sir. と Sir をつけられて戸まどいしました。石井君が丁度休み中なのでそれから一緒に大分旅行しました。Boston, (M. I. T. 及び Harvard); A. S. T. M. の Atlantic City の Meeting (これは Tschob. 先生も一緒に、こゝで多くの soil man に会いまし

た。応用数学の森口君にも偶然会いました。) から南のはてに近い Vicksburg, Miss. の Waterway Experiment Station へも行きました。石井君と1月近く一緒に、New York, Washington D. C. は一人でした。会つたsoil man も、K. Terzaghi, A. Casagrande, L. Casagrande, Wilson, D. W. Taylor, Lambe, Birmister, Holz, Johnson, Tschobotarioff, Winterkorn, Garber, Turnbull, …… でノートを見ればまだあると思います。

石井君の6ヶ月の体験をも含めて米国の土質力学界のおよそはのみ込んだと思つています。このことは又別の機会に御報告したいと存じます。

意外な事に余程困ると思つていた言葉は存外よく分かつた事は幸いでした。時に分からぬ事もありますがこの時は聞き直せば何とかかなります。又外国人なのでゆつくり言つてくれるせいもありましょう。雨の方へ行つた時は鼻へぬける様な Mild な発音で、洗濯物をたのんだ時の如きサツパリ分らず書いてもらいました。

Prof. Winterkorn は私に最も近い人ではないかと思ひました。彼も大変喜んでいと彼の所で勉強している印度人 Chandrachekaram 君が伝えて来ました。Terzaghi はゆつくりした語調で話し Miss. Terzaghi を含めて一緒に昼食をしましたが、忙しそうで British Columbia に今日出発するとか云つていました。

D. W. Taylor は gentleman で clay の shear を一生懸命にやつていました。Wilson は比較的若く、中々面白い仕事をし、良い所をつかんでいました…。Tschob. 氏は愉快なおやじで大変仲良くなりました。50 一寸出た位でしょう。先生の特長は一言に云えば細心と大胆にある様でした。Waterway Exp. Station の Mr. Garber は君の論文を読んだ、と云つて私のために彼の砂の実験を説明してくれました。discussion をしましたが、これは面白いのだが job としての仕事をやらない訳に行かないので続けにくいと云つていました。

これらの人々の印象だけでも結構もつともつと書けますが、これも後日を期しましょう。

New York に約1週間いて Denver に飛び Los Angeles 又は San Francisco に出て帰途につく予定で。末筆乍ら会長初め皆様によるしくお伝え下さい。

追つて A. S. C. E. には 2, 3 日中に行く予定です。